



神戸市シルバーカレッジ情報誌
2023年1月 第214号



「ご来光」 絵画ボランティアグループ 国際27期 中島 紀子

目次

2	新年の挨拶
3～8	グループ学習発表会
9	校外学習
10	教室だより
11～12	サークルだより
13	グループわ だより、ジョイフルクッキング
14	文芸サロン
15	事務局だより、図書室だより、編集後記
16	Photo News（グループ学習発表会と校外学習風景）

情報誌編集委員会では、カレッジ内外の活動も含めて写真・記事の投稿をお待ちしています。

「爽風」への情報提供・ご意見は、次のホームページからお寄せください。

<https://ksc-sofu.net/> スマホからは右のQRコードを読み取ってアクセスできます。





【新年のごあいさつ】

学長 前田 潔



新年あけましておめでとうございます。

みなさまはどのように新年をお迎えになられましたか。

正月はいくつになっても気持ちを新たにしてくれます。私は子どもの頃のお正月ほど楽しいものはなかったです。親に手を引かれて父の実家を訪ね、お年玉をもらって、いとこたちと遊ぶお正月でした。その日は実家に泊まるので遅くまで遊んでいることが許されました。

みなさまのお正月の思い出はどんなですか。

昨年 1 年、いつもの如くいろいろなことがありました。人生とはいろいろなことが次々とときりなく起きてくるものです。それが人生で、それは避けられるものではありません。

今年も前を向いて、いろんなことを乗り越えて進みましょう。

なんとかなるのもまた人生です。

事務局長 澤田 靖



カレッジの皆さま、明けましておめでとうございます。新たな抱負と目標を心に、新年を迎えられたことと思います。

昨年は、やはりと言いますか、コロナ禍が席卷した一年でした。変異株の発生に伴い、感染者の減少傾向が落ち着く間もなく、新たな波がやって来ることが繰り返し、元の生活への期待感を削がれた年だったように思います。そのような中でも、カレッジの皆さんが生き生きと活動されている姿は印象的でした。なかでも学園祭が開催でき、皆さんが日ごろの成果を大いに発揮され、喜んでおられる姿に接することができたのは嬉しい限りです。

さて、今年の干支は「卯」です。穏やかなうさぎの様子から安全、温和の意味があり、うさぎのように跳ね上がるという意味から、何かを開始するのに縁起がよく、希望があふれ、景気回復、好転するよい年になると言われています。コロナ禍や厳しい経済状況など取り巻く環境には予断を許しませんが、「卯」にあやかって、皆さんお一人お一人が元気でカレッジ生活を送られるとともに、安心安全な世の中にならんことを心より願っています。

本年も事務局一同、カレッジの充実に努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

情報誌編集委員会代表 佐野 幸男

皆さま、新年あけましておめでとうございます。

昨年もコロナ禍（第 6 波）で始まりコロナ禍（第 8 波）で終わりました。コロナウイルスも多種に変異しましたが、医療関係者の皆さまのおかげでワクチンや薬の開発が進み、私たちの対応も少しずつ変わってきました。今ではスポーツ観戦やコンサートの開催や海外旅行もできるようになってきました。シルバーカレッジもリモート授業が無くなり、制約付きではありますが「学園祭」も開催され、通常に近いシルバーカレッジ生活が送れるようになってきました。

新しい令和 5 年は干支で「卯年」です。「うさぎ」は、穏やかで温和な性格であることから「家内安全」、またその跳躍する姿から「飛躍」・「向上」を象徴するものとして親しまれております。令和 5 年が、自然災害や争いごとの無い年でありますように、皆さまのますますのご健勝とさらなるご活躍の「飛躍の年」となることを願っております。

情報誌「爽風」は、令和 5 年も皆さまのご活躍の様子を発信してまいりますので、情報誌発刊へのご協力をお願いいたします。

特集！

令和4年度 グループ学習発表会（Part 1）

食文化専攻、健康福祉コース、国際交流・協力コース

令和4年度のグループ学習発表会が12月5日、食文化専攻（3グループ）からスタートしました。12月8日に健康福祉コース（4グループ）、12月12日に国際交流・協力コース（9グループ）と続いて開催されました。各グループから寄せられた学習の取り組み、成果、苦労話、反省点などをご紹介します。なお、他コース・専攻の発表会については3月号に掲載いたします。

◇食文化専攻◇

食文化専攻の3つのグループ発表のテーマは「干し野菜」「作り置き料理」「トマト」でした。身近な食材や調理法を掘り下げた研究は奥深く、その歴史、栄養価、日々の食生活に応用できるレシピの紹介など、おいしそうなお料理の写真とともに、とても楽しく見させていただきました。学びのテーマに関連した工場見学や有名店への視察も興味深く楽しそうで、来年度は自分たちの番と気持ちを新たにしています。

食文化 28期 矢野 みどり、西浦 哲雄

干し野菜の世界を学ぶ （太陽の恵み・先人の知恵を生かして）

干し☆干し☆隊 27期 大平 真理子
グループが決まり学習のテーマを決める所からスタートし幾つかの案の中から先人の知恵、干し野菜を学ぶことになりました。

まずいろいろな野菜を手分けして、天日干しで5～6時間干すセミドライ野菜と2～3日干すフルドライ野菜を作り、調理し、試食することから始めました。汁を絞って糖度測定したり、味の評価（五味）を数値にすることで生の野菜との比較をしてみました。野菜を干すことで甘味・旨味が増すことを確認し野菜の持つ旨味で調味料も控えることができ、栄養面でも優れていて、調理時間の短縮にもなることがわかりました。短時間でできるので朝食やお弁当のおかずにも最適です。



コロナ対策をしながらの学習やフィールドワークでしたが、干すことにより無駄なく使え、食感や栄養価もアップするなど干し野菜の魅力をたくさん見つけられたと思います。フィールドワークもお伺いした全ての企業様からも思った以上に協力をいただき、ますます干し野菜の魅力を感じることができました。

今後の生活にも役立てて行きたいし皆さんにもお勧めしたいと思う有意義なグループ学習になりました。

作り置き料理で豊かな食卓

料理を楽しむ会 27期 森島 誠二

私たちは、日頃の食卓は豊かでしょうかとの疑問から始まり、それぞれの家庭の日々の食卓を思い、幅の広い作り置き料理をテーマにしました。

作り置き料理の基本的な調味料は、米、果実を原料にし、アルコールを経て酢酸菌による発酵によって作られる酢、大豆、小麦、塩を原料に麴で発酵熟成させて造る醤油、及び原料が「大豆、米／麦、塩」の味噌です。味噌はその種類が使う麴の種類によって決まります。これらはすべて発酵熟成から造りだされた先人の知恵です。

作り置きの紹介では、酢・味噌・醤油・発酵・作り置き料理・作り置き調味料と分類し、メンバーが料理本・インターネット・親の代から継承や個人で培ってきた方法など、色々なレシピが出て来ました。

発表会では大きなミスも無く無事に終了しました。

反省会后、清水先生の「大変素晴らしかったです」のひと言があり、この数か月の努力が報われた気がし、女性陣の中には涙が出そうになった人もいたほどです。

グループ学習発表会后、女性陣の友達から作り置き調味料をぜひ教えて欲しいと依頼があったと聞いた時、大変うれしく思いました。日々の食卓を見直し「作り置き料理」を1品から追加していただければ幸いです。



健康機能性が高いトマトを、よりおいしく食べて、食生活を楽しもう

リコピンくらぶ 27 期 宮城 章吾

私たちのグループでは、健康に良いと言われ、スーパーなどでも多くの種類が販売されている、トマトをテーマに取り上げました。

トマトについて、まず、公開情報を調査しました。日本人のトマト消費量は世界平均の半分程度、トマトにはうま味成分が多く含まれている、トマトの種類によって健康効果のある成分の量が異なるなど、色々新しいことが判りました。

次に、日本ではトマトの食べ方はサラダなどの生食が主ですが、トマトをおいしく食べる方法を試しました。トマトが旬のうちに試すことにし、6月からスピードアップ。メンバーの意見のまとまりもよく、役割分担よく進めることができ、「トマトは万能

野菜であり、そのまま、また色々な調理法で調理することにより多彩な食べ方ができる」の結果とともに、9月には終了しました。その後はまとめ、余裕をもって発表会を迎えることができました。

メンバー、テーマに恵まれ、楽しいグループ学習でした。また、色々なトマトの魅力を知ったことは非常に有意義であり、我が家の食生活にも取り入れています。あなたも、もっとトマトの魅力を知り、食生活に取り入れてみませんか。



◇健康福祉コース◇

12月8日（木）に健康福祉コース27期生のG学習発表会が以下の4グループで行われました。

しあわせ家族 2031 : タウン・ウォッチング 2031 IN しあわせの村
Let's enjoy : Let's enjoy ～さあ みんなで楽しもう 心と体のリフレッシュに向けて～
HAPPY END : ～幸せな終末に向けて～ 人生百年 備えあれば憂いなし
アクティブシニア・セブン : 高齢者の「きょういく(今日行く)」と「きょうよう(今日用)」を求めて

健康 28 期 小藪 孝明、荻田 知子

タウン・ウォッチング 2031 IN しあわせの村

しあわせ家族 2031 27 期 宮本 比佐志

3 年次必須の「グループ学習」。メンバーが苦楽をともにする紆余曲折的物語は、2 年次終期にクラスメイトに配布した A4 版一枚限りの呼びかけチラシである「プレゼンテーション申込書」から始まった・・・。

■時は、2031 年、春真っ盛り。ここ KSC シルバーカレッジに「健康福祉コース」最終期だった 27 期の面々が、こともあろうか、10 年という時空を乗り越え再入学。天真爛漫かつ自由奔放に余生を謳歌している。

■一日は長く一年は短いに違わず、気がつけば、はや秋。やってきました、いまや KSC 名物講座「タウン・ウォッチング」の季節が。齢のせいなのか何故なのか、全員が近場の「しあわせの村」を希望。ルンルン気分で探索してみる。どうしたとか、なんと「タウン・ウォッチング 2021」に掲げた「お願い事項」が、ことごとく実現されている。

夢かとばかりに・・・びっくり仰天。こんな舞台設定にして、2031 年の仮想空間（お願い事項実現状況）と「しあわせ家族」のグループ学習の道程を、楽しく賑やかに報告できればと考えています。2031 年を、共に旅しませんか・・・。



Let's enjoy ～さあ みんなで楽しもう 心とからだのリフレッシュに向けて～

Let's enjoy 27 期 鈴木 正美

私たち Let's enjoy グループ 10 人は、カレッジ生活ラストイヤーとして、このグループ学習をみんなで楽しめる場にしたと思い集まったグループです。そして、それらの活動を通じて新しいことへのチャレンジや、グループで行うことでコミュニケーションを向上させ、心とからだのリフレッシュに向けて取り組むこととしました。

具体的には、メンバーおののから、やりたい企画を出し合い、グループで相談・具体化し、みんなで実行して楽しむ

こととしました。結果、次の10のイベントを行いグループ全員で大いに楽しみました。

1.しあわせの村ウォーク、2.落語（観賞）、3.グラウンドゴルフ、4.茶道、5.豆腐料理（調理）、6.寅さん体操（独自のストレッチ）、7.博物館（鑑賞）、8.BBQ、9.俳句（創り）、10.グループ発表会

上記各イベントの多くは、しあわせの村の施設の利用や部活動の協力をいただき、スムーズに進めることができました。また初めて経験することも多々ありましたが、グループみんなの協力の下にテーマ通りに楽しく取り組むことができました。

シルバーカレッジには、多くの部活動、ボランティア活動があり、村内施設にも充実したものがあります。今後の新入生の皆さんにもカレッジ生活の参考にしてもらえれば幸いです。



～幸せな終末に向けて～

人生百年 備えあれば憂いなし

HAPPY END 27期 福島 広美

人生の終末に向けて最後まで楽しくハッピーに過ごすために、元気な今のうちから備えておくべきはどのようなことを考え、必要に迫られる前の役立つ情報として自らの人生設計に活用していくという取り組みです。

終活の to do リストとしてエンディングノート作成、不用品・デジタル関連の整理、介護・医療に関する意思表示、終の住まい選びなどが挙げられますが、知らないことも多くあり、まずは制度、内容など知ることから始めよう！と「医療」「介護」「生前整理」「終の住まい選び」それぞれ担当を決め、学習を進めていきました。

それぞれが、PC や文献から情報収集し共有、さらに有料老人ホームの見学（内容の違う三施設を巡ることで比較）、訪問看護センター長様の現場での苦労話、介護ケアマネージャー様のプラン作成の工夫など、生の情報をたくさん収集できました。現実を知ること、これから先の人生を考えるいい機会になりました。グループメンバーも異口同音に、これからの人生を考え実践すべきことが明確になったとの感

がありました。

後を託す人に自分の意思表示を書き残す「エンディングノート」の作成を皆さまにもお勧めします。



高齢者の「きょういく（今日、行く）」

「きょうよう（今日、用）」を求めて

アクティブシニア・セブン 27期 中塚 賢

私たち7人のメンバーは、フレイル予防の3原則である「食事」「運動」「社会参加」のうち「社会参加」について、学習を深めてきました。「社会参加」は、日常生活における社会生活とは区別した活動で、地域社会に出て自分以外の人や集団とかわりを持つ活動です。

健康福祉・健康ライフの学生からアンケート協力を得て「社会参加の意識と実情」について調査しました。学生の社会参加に対する意識が高いこと、さらにその意識に比例して、実践が充実していることがわかりました。

グループの実践として、視覚障がい者支援活動への体験参加・ボランティア入門講座の受講・湊川隧道保存友の会や湊川公園手しごと市実行委員会の実施する地域イベントへの参加・神戸市中央体育館の主催する健康づくり行事への参加など社会参加体験をしました。

社会参加の機会は、私たちの周りにたくさんあります。シルバーカレッジ在学中に学んだ知識、部活動やボランティア活動で得た経験、そして仲間との絆などを大切に、卒業後の社会参加に生かしていきたいと思います。



◇国際交流・協力コース◇

12月12日、27期生の3年間の学習・活動の成果を発表するグループ学習発表会が行われました。午前午後合わせて約3時間の間に9グループの発表がありました。27期生は、コロナ禍の影響を受け入学式もなく、授業などの学生生活のスタートが半年遅れになり、海外でのフィールドワークが制約される中でグループ学習など、通常とは異なる3年間のカレッジ生活でしたが、国際関係や海外との接点を意識した調査・検討の結果は、大変興味深いものでした。

(国際28期 谷口 清、岸本 修治)

ウクライナの受難&どうなるの？

—安全保障と難民—

がんばれウクライナ！ 27期 佐藤 修一

私たちは男性2人、女性1人、最少人数3人のグループです。筆者はウクライナ民族とその歴史に、リーダーは難民問題と日本の安全保障に、女性は日本のウクライナ難民対応に関心がありました。活動は、関心のある部分を担当し、それぞれの責任で作成した原稿を報告の形で披露し、推敲を行いました。したがって内容についての議論というよりも、情報、知識の共有が主体です。歴史については7月に、難民問題と安全保障については8月に、プレゼンは9月にほぼ形ができて上がり、10月、11月はそれらのブラッシュアップと練習を行いました。調べてみて分かったことですが、ウクライナは他民族支配のもとで、長年、自治や自らの文化、教育、言語すら否定されてきたことから、受難と独立という視点で歴史を眺めてみました。ロシアの侵攻により戦争難民が問題になりました。ますます存在感を強める中国は台湾侵攻をうかがっており、日本を取り巻く国際環境は緊迫の度合いを増しています。日本の安全保障ではインド太平洋地域における日本の防衛の枠組みと日本の将来像について私見を述べました。そのため情報収集にかなりの努力を費やしました。

グループ活動という機会を得て、シルバーになっても世の中のことに関心を持ち、その成果を報告書という形にまとめることができたことに感謝しています。

「慶長遣欧使節」

—伊達政宗の隻眼（独眼）の先には何が

見えていたのか—

サン・ファン・パウティスタ号 27期 徳毛 康朗

江戸幕府の黎明期に遠くメキシコ・欧州に目を向け、海外へと使節を派遣した伊達政宗の壮大なロマンに魅了された6人が集まりました。

当時の日本の造船技術では不可能であった外洋航海に耐える大型帆船を建造し、海外との交易を目指した目的は何であったのか、に注目して学習をしました。

スタート時に関係著作を輪読し、テーマに関する知識の集積に務めると共に、メンバーとの相互理解を積極的に図り

ました。と言うと聞こえが良いのですが、実際には「雑談八割、学習二割」の中、「ボケ・突っ込み」を交互にした冗談の応酬で大いに盛り上がり、メンバーの相互理解には多大な貢献を果たせたと思っています。そんな雰囲気の中、指導教官の助言も受け、テーマとした論点を中心に考察を進めました。

カレッジでの学習時間以外にも、「課外研究会」（世間では「飲み会」）とも言いますが）と宮城県へのフィールドワークに出向き、参考文献の著者の一人、佐々木徹氏にもお話を伺う機会を得ました(写真)。



結局、伊達政宗の外交は成果を得られませんでした、海外との関係に携わる日本人に「勇気と希望」をもたらす一出来事であったものと考えます。

オールディーズを訪ねて

～タイムスリップの旅～

ヒマジン 27期 中村 真知子

歌の好きな4人が集まり、歌の中でも大好きなオールディーズに着目しました。オールディーズの曲には懐かしさや各々の思い出があるのですが、オールディーズとは何かつかみどころがなかったため、アンケートを取り、それによって形をはっきりさせ、そもそも音楽とは何だろうか？から始まり、そのルーツを探り、歴史を調べていく中で、オールディーズがどのようにして生まれたかが分かりました。さらにオールディーズがなぜ人の心に深く残っているのかを探っていくと、それぞれの時代背景を反映して、人々の心に強烈に訴えるもの、それは愛と平和という発見でした。現在の世界情勢と重なり、いつもと変わらない生活が送れることの大切さを痛感しました。発表は、大好きなオールディーズをKSCの皆さんと口ずさみながら、私たち4人と一緒に楽しいタイムスリップの旅へ行けるように、学習で得た貴重な足跡や自分たちの



強い思いを伝えられるように、私たちも楽しみながら工夫しました。

言葉を選び、情景に合う画面を探し、懐かしい音楽を訪ねながら、4 人の楽しい思い出となる旅の幕を閉じることができました。



「朝鮮通信使が日本各地に残したものは？」 —あの時代に、こんなことがあったんだ—

歴史探検隊 27 期 井上 薫

私たちは、江戸時代に、「朝鮮通信使」という交流の史実があったことに注目しました。

「朝鮮通信使」とは、李氏朝鮮国から派遣された外交使節団です。「外交」である限りは、国益が絡み本音と建前があったのではないかと考え、当時の政治・経済・社会事情を背景とした駆け引きや思惑等を調べるとともに、国レベルと庶民レベルの両視点から交流とは何かを考察しました。

調査にあたっては、「楽しくなければ、グループ学習ではない」とのことで「遊んで、食べて、勉強する」をモットーに、国内の「朝鮮通信使ゆかりの地」を訪ねるフィールドワークを多く取り入れることにしました。当然、地元のグルメも楽しみ、栄養を付けて精力的に学習をしました。



結果、国の思惑等とは別に、庶民の間には「朝鮮通信使」を通して、異文化が強く印象付けられていることが確認できました。

異文化を相互に理解し、また深化させていくためには、日頃からの交流、その促進がいかに重要であるかと言うことが認識できたところでもありました。

また、グループメンバーとは、激論を交わしたにも関わらず、発表会まで一丸となって到達でき、その満足感とともに親交を深められたことも大きな収穫でした。

また、グループメンバーとは、激論を交わしたにも関わらず、発表会まで一丸となって到達でき、その満足感とともに親交を深められたことも大きな収穫でした。

また、グループメンバーとは、激論を交わしたにも関わらず、発表会まで一丸となって到達でき、その満足感とともに親交を深められたことも大きな収穫でした。

【ウクライナの歴史と文化】

ウクライナ 5 人組 27 期 植田 治昌

2022 年 2 月 24 日、ロシア軍は突然ウクライナに侵攻しました。以来毎日のようにウクライナに関する報道に接するにつけ、私たちは如何にウクライナのことを知らないかということを実感しました。そこでこれを機に、ウクライナについて知りたかったです。

ある国に関して知ろうとすると、要となるのはその国の歴史を知ることだと考え、ウクライナの歴史を学ぶことから始めました。次に各メンバーが興味を持った、ウクライナ語、古代ウクライナ（スキタイ）の黄金文化、世界遺産、紙幣に見る偉人、そして日本・神戸との交流を学習しました。

これらの学習を通して、他の国々に侵攻され、翻弄されながらも独立の志を持ち続けたウクライナの人々の誇りと、その上に築かれた重厚な文化を知りました。

今回はウクライナのほんの一端しか学習できませんでしたが、現在継続中の歴史的イベントの当事国のことを学習する機会を得たことは感慨深いものがあり、貴重な経験となりました。



この学習を通してウクライナの一日も早い平和を願うと共に、平和を維持する事の困難さを痛感し、自分にできる事を考え行動することの重要性を実感しました。

「美麗島と呼ばれる台湾」

台湾ナイン 27 期 城 隆二

台湾について、親近感を抱いている人はとても多いと思います。でもその歴史や文化について、どれだけ知っているのでしょうか。私たちは、台湾を旅したい、親切的な台湾の人と触れ合いたい、グルメも楽しみたい、との思いで 9 人が集まり、台湾の歴史から学ぶことにしました。

台湾の高校生用歴史教科書を手始めにグループ学習を開始し、台湾は原住民の島で 17 世紀以降移民の国・地域となったことを知りました。台湾の人たちが日本統治時代の前後も含めて台湾の歴史をどのように学んでいるかを理解し、日本に対する評価を私たちなりに検証しました。台湾の歴史の理解が深められ、温泉文化や食文化も移民時代の影響を受け独自に発展したことを学びました。

フィールドワークでは、東北(秋田、岩手)、金沢を訪ね、名物温泉を満喫しました。また、神戸・大阪の台湾料理店巡りも頻繁に行い、台湾グルメを堪能しました。これらの体験をとおして、ますます魅力ある台湾に引き付けられました。国際情勢の緊張が緩和し、「美しい台湾」がこれからも持続・発展していくことを願っております。



【富士山（その魅力を伝えたい）】

富士山 Love 4 27 期 吉田 良

皆さんは「富士山」という言葉を聞くと何を思いますか？その姿かたちが目に浮かび、実際に見ることができるならば、いつでもどこからでも見たいと思う人は多い。我々メンバー 4 人に共通している思いは「富士山の美しさ」です。メンバーの 1 人は日本人の心を捉えて離さない富士山は、どのようにしてできたのか？ 富士山の成立ち、内部の構造、地層、火山活動について調べました。別のメンバーは富士山が世界遺産に登録された過程について興味を持つと同時に、「美しい富士山にぜひ登ってみたい」と思いました。

また富士山を「日本人の心の象徴である」と感じて、その文化的価値を言語で伝える古典文学について調べました。富士山の雄大な姿が放つ「神々しさ、神秘性」から日本に伝わる民話や神話について学んだメンバーもいました。

コロナによって計画どおりのフィールドワーク実施は困難でしたが、7 月には有志 3 人で富士登山を行いました。台風並みの風雨で山頂に立つことはできなかったが、実際に足を踏み入れることで富士山の岩や砂、わずかな草花、そして空気を感じることができました。日常とは違う時間軸で地球や日本列島の成り立ちを学び、噴火の歴史から「富士山が我々に伝えるメッセージ」について考えることができ、大変有意義な経験でした。



【人生 100 年時代の資産運用と管理】

マネーセンス 27 期 寺下 治之

人生 100 年時代と言われ、今後我々高齢者がいかに生きるべきか、年金収入のみを頼りにしたこれまでの生活設計で大丈夫なのかといった問題意識が湧き上がってきました。そこで私たちのグループは、本テーマを選定し今ある金融資産（普通預金等）を賢く効率よく資産運用し、余剰資金を増やすことで老後をより豊かに暮らせるのではないかと考え学習を始めました。

まずは現在購入できる「金融商品」を選定し、リスクとリターンや利回り予想・安全性・換金性等を調べ、高齢者にふさわしい資産運用の方法を提案することにしました。

次に運用する「資産の配分比率」を考えて、長期国債分散投資で「安定型」と「積極型」の 2 つの提案をしました。

資産運用は個人の資金規模や投資目的、金融知識・投資経験によって運用方法は変わってくると思います。本人自身で考え、他人に頼らず自分に合った投資方法で行うのが重要です。



資産運用を行うことで、老後の楽しみや脳が活性化し老化防止にもつながると思います。ぜひ機会があれば、チャレンジをして欲しいと思っています。

【神戸開港の歴史と神戸らしい文化・産業】

BE KOBE 27 期 大木 良彦

私たちの目標は「神戸の魅力」の再発見です。私たちは神戸に住み、愛着を持ち、魅力を感じていますが、「神戸学」の講義を受けて、まだまだ知らない事がたくさんあることに気付きました。グループ学習を通じて、知らない事を知る楽しみや喜びを味わい、「神戸の魅力」を再発見したいと思いました。

幕末から明治にかけての開港を中心とした神戸の歴史と開港の影響により生成発展した文化・産業を改めて学習し、日常は気付かないことに気付こう、即ち「神戸の魅力」を再発見しようと取り組みました。

学習の過程で興味関心が湧けば、すぐにフィールドワークに出かけて、「行ってみる」「見てみる」「聞いてみる」を実践しました。その結果、数多くの「神戸の魅力」を再発見できました。書物や WEB では得られない見聞の大切さを学び、見聞に即した報告をまとめることができました。また、グループで活動することにより、楽しさや喜びも大きくなりました。メンバー全員、今後も神戸で新たな魅力を見つけ、豊かなシルバーライフを過ごしたいと思っています。



園芸コース 3 学年合同校外学習「咲くやこの花館」

令和 4 年 9 月 16 日、大阪市鶴見区の世界の花と緑に出会える大温室の「咲くやこの花館」にて園芸コース 3 学年合同の校外学習が行われました。まだまだ猛暑の温室の中、入り口で全員携帯の保冷剤をいただいでの見学となりました。

多くの方々にも快適に訪れていただきたく、冬場の温室も良いのかなとの思いにて今回のご紹介となりました。

シルバーカレッジで園芸コースの講義をしていただいている久山敦先生が名誉館長をされており、館内でのホールで講義をいただきその後温室と関連施設のツアーをしました。

印象に残ったお話は、野生ランは植物進化の最後の出現のため、既に地上では他の植物が繁茂し行き場がなく樹上で生活できるように進化したとのこと。



講義の後の館内ツアーでは館内の植生別の植物室などを巡り、花にまつわるエピソードを楽しくご紹介いただきました。

たとえば熱帯雨林植物室の「ガジュマル」の木などを見ると熱帯のジャングルに吸い込まれそうな世界でした。熱帯花木室ではアルゼンチンが故郷の「アケボノキワタ」が植えてあり、超メタボの下部がずんぐりとした植物で、熱帯で生き抜くために適応したとのこと。



ことです。日頃の園芸コースの授業などで接している畑や花壇の植物とは一味違う雰囲気もあり、3 学年合同でとても楽しい学習ができました。

また、温室内でふしぎな植物に出会いました。「奇想天外」という名前由来は普通では思いつかない風変わりな奇抜なこと、そのありさまのことです。アフリカのナミブ砂漠の固有種で正式名称は「ウェルウィチア」(Welwitschia mirabilis)といいます。一対のみの葉を伸ばし続ける特異な形態を持つ裸子植物です。寿命の長い植物で 2000 年を超えているものもあり「生きている化石」と言われることもあります。ちなみに「奇想天外」とは和名で 1936 年に石田健六氏によって命名されたものです。

また、今回咲くやこの花館を訪れたときは、「虫を食べる植物展」が特別展で開催されていました。

食虫植物は大きく 4 種類の方法で虫を捕ります。

① パタッと葉を閉じて虫をはさみ込む二枚貝式

(ハエトリグサ、ムジナモなど)

② 筒状になった葉の中に蜜やにおいで誘いこまれて、ツルツル、ズンズンと落とし込む落とし穴式 (ウツボカズラ、サラセニアなど)



③ 葉に生えた毛からネバネバとねっとりした液を出して捕まえる粘着式 (ムシトリスミレなど)

④ 茎にごく小さな袋がついていて、スポイトのようにスポッと捕食する吸い込み式 (ウサギゴケなど)

奇妙でインパクトのあるルックスのこれら食虫植物は、虫を主な栄養素として成長しているわけではなく、基本的には光合成で栄養を得ています。観賞用に人気が出ていますので、おうちで育ててみてはいかがでしょうか。

今回の校外学習で印象に残ったことは熱帯性ラン、多肉植物、高山植物、食虫植物など数多くの品種展示も素晴らしかったですが、普段見学者が入ることができないバックヤードエリアを、久山敦名誉館長にご案内いただいたことです。

観覧エリアの大温室は鉄骨造の総ガラス張り、地上 2 階建、高さ約 30m、建築面積約 4,750 m²、延床面積約 6,890 m²の建物で、国内最大級の大温室です。

一年中観覧できる状態で花や植生を展示するため、5,500 種、15,000 株の植物をバックヤード施設で 14 人のスタッフが管理されており、植物の休眠冷蔵室や種類ごとに環境管理されたハウスなど非常に興味深い見学でした。



(園芸28期 前川、本橋、園芸29期 貴志、浜)

楽しく学ぶ

健康 28 期 辰巳 透

健康ライフでは、運動・食事・医療・社会参加など、健康で幸せな生活を送るために必要なことを学んでいます。

①自分の体力を知り適切な運動とバランスの良い食事を摂ること。②認知症や膝腰痛など老人特有の病気を知り予防することなどの知識と実技を修得できるのが特徴です。

例えば、運動機能向上に向けてベタンク・シャフルボードのスポーツやボールを両手に持って安全歩行ができるボールウォーキングで坂道を登ったり降りたりと楽しみました。



川柳の授業では皆が作った句を先生が面白く紹介されて笑っぱなし。笑いは健康に良いと実感しました。

タウンウォッチングでは住む街がユニバーサルデザインになっているか各班調査・検討し模造紙にまとめて発表、グループ学習の達成感を味わえました。作品はホールに掲示しました。このように 28 期は、皆で楽しく学ぶ喜びを共感できるクラスです。

ライフ生き生きと健康

健康 29 期 寺澤 新二

シルバーカレッジの眼下に広がるしあわせの村、その一角に日本屈指のローンボウルズ場、黒蟻のように動く人影。

「では投げてみましょう」講師の合図にいはよ第一投。どうにも止まらない球、勝手に曲がる球の洗礼に誰もが苦戦。最初は講師の指示を忠実にやろうとし、あーやって、こーやって…○×△。頭が混乱し自滅。

「では対戦しましょう」講師の合図に、いざ真剣勝負。たまたま居合わせた 4 人で結成するチームの対抗戦。自分の一投に集中、仲間の一投に声援。やがて勝敗が決し、あちこちで湧き上がる歓喜と落胆の声。即席チームがワンチームになった瞬間であった。

～ 秋麗(うらら) 後ろ姿の現役生

偏心球に 一喜一憂 ～



校外学習の思い出

生環 28 期 隅田 毅

早いもので昨年は「ピカピカ（個人差あり）の一年生」でありましたが、二年生もまもなく終了する時期となり、全く時間の経過の早さを痛感しています。

定員 100 人のクラスが現在は 39 人、「少数精鋭・一致団結」を目指して全員頑張ってきましたが、やはり記憶に残るイベントは定期的な「校外学習」で、今年度は「神戸市森林植物園・弓削牧場」（5 月）「東水環境センター」（7 月）「あいな里山公園」（9 月）王子動物園（12 月）を訪問見学しました。



ガイド氏の説明に真剣にメモを取る人、完全に遠足ハイキング気分の人・・・、各人が「自然共生・資源循環」社会に関して、各様に「触れ・学び・考える」機会を持つことができる貴重な時間です。

残り一年余りとなってしまいましたが、日々の講義学習だけでなく、校外学習のような、色々な校内外イベントを通じて、全員「ワンチーム」で協力しながら、これからもカレッジライフを単なる「記録」だけでなく、各人の「記憶」にもしっかりと残る思い出にしたいと考えています。

マイクロプラスチック問題、最前線

生環 29 期 山内 利夫

本日の授業(2022.11/15)は、講師が京都大学大学院の田中周平先生で、講義タイトルは、『資源循環社会「マイクロプラスチック問題を考える」』で、午前・午後の 2 コマでした。

私の個人的な授業の感想になりますが、少しでも教室の雰囲気伝えることができたいと思います。

まず、驚いたのは、「本日の配付資料はありません」という、これまでに無いお知らせでした。配付資料が無いのか、スマホでスライドの画面を撮る人が、私の周りで 3 人はいました。

私は、先生の話聞くことが精一杯で、ノートに簡単なキーワードだけをメモしました。教室の雰囲気はこれまでに無い静かな熱気を帯び、皆の表情は真剣そのものでした。

先生の講義内容は、先進的な研究成果、知見をお話していただき、専門的な内容ですが、堅苦しいことは無く、ウイットにも富んでいて、質疑・応答を含めた講義の配分ペース、動画を含めた的確な研究成果のスライド、きめ細かい説明、余裕のありすぎるほどの力量、いずれを取っても素晴らしいの一言です。ぜひ、他のコース・専攻の人にも、知っていただければと思います。

最後に、本日の授業を企画していただいた事務局の方や関係者の皆さまに、「深く感謝！」です。



英語クラブ

「自由に楽しく学ぶ英会話」

美工 28 期 瀬戸 康雄

三宮で外国人に声を掛けられたら？鼻歌気分で気楽に外国へ行くには？皆さんはどうされるでしょうか？身振り手振り？それでは大変です。この時こそ役立つのが英会話の力です！パリでもカイロでも台北でもリオデジャネイロでも洋の東西を問わず広く英語が通用します。「英語クラブ」では 英語を通じて会員相互の親睦を深め、研さんし、楽しむことをクラブの目的としています。`たくさん聞き、たくさん英語で話しましょう`と中学卒業までの文法や英語表現を身につけるといふ「中学生の基礎英語レベル 2」、それに「自然と英語が口から出てくる」ことを目指した日常会話に役立つ基礎表現を練習する「SPR トレーニング（「瞬」Shun・「発」Patsu・「力」Ryoku）」と「英会話トライアル」という二つの教材を使って英会話を自由に楽しい雰囲気の中で学んでいます。英会話は「Learn by Doing = 習うより慣れる」が肝心と言われています。以上に加えて、メディア他で取り上げられた話題などの時事英語に触れたり、日本の文化・観光を海外に紹介する英語表現を学習しています。

活動は月に 2 回例会を学内で開催し、月に 1 回ネイティブスピーカー（米国人女性）のもとで、テーマを決めて OB を含め各人が自由に楽しく発表する場を「英語サロン」として神戸市立婦人会館で催しています。

いまだコロナウイルスの新株（オミクロン株）の感染拡大が収まらず、誠に残念なことです。海外研修旅行にも行く機会がありませんでした。早期にコロナウイルス問題が収束し、今まで先輩達が体験したように多くの仲間が自由に楽しく海外へ行き、学んで身につけてきた英会話を使って海外の人たちと交流することを願っています。

自由に楽しく学ぶ英会話に参加されませんか？初級でも上級でも一向に構いません。多くの仲間が歓迎します。



歓送会

KSC 映画サークル

「名画と一緒に鑑賞しましょう」

生環 28 期 赤穂谷 憲一

今年、濱口竜介監督が村上春樹の短編を映画化した「ドライブマイカー」が第 94 回アカデミー賞の作品賞、脚色賞、監督賞、国際長編映画賞と合計 4 部門にノミネートされました。映画サークルでは 3 月のアカデミー賞授賞式直前に上映会を催し、アカデミー賞の結果をワクワクしながら待っていました。残念ながら最終的には国際長編映画賞のみの獲得でしたが、滝田洋二郎監督作「おくりびと」以来 13 年ぶりの久々の日本映画の快挙にサークル全員が拍手でした。

『古い作品を楽しみながら、新しい映画を楽しむ』

古くは `ローマの休日` 誰もが認めるオードリー・ヘッバーンの美しい清楚な顔立ち、たまらなく愛らしい笑顔。70 年以上も前に作られた黒白のモノトーンの映画のスクリーンに恋した方もたくさんおられるでしょう。TV では今でも繰り返し上映される名画中の名画です。

巨大な宇宙船が画面に迫るジョージ・ルーカス監督の代表作 `スター・ウォーズ`。ドレミの歌、エーデルワイスで有名な `ザ・サウンド・オブ・ミュージック`、邦画では松本清張原作、野村芳太郎監督、橋本忍 & 山田洋次脚本の社会派サスペンス `砂の器` などなど映画の魅力は言葉ではつきません。

同じ山田洋次監督が原作・脚本・監督の 1969 年以來 26 年間、日本を代表する人情喜劇で、毎回旅先で出会った「マドンナ」に惚れつつも失恋するか身を引くかで成就しない車寅次郎の恋愛模様を日本各地の美しい風景を背景に描く『男はつらいよ』フーテンの寅さんも忘れえぬ名画です。

毎月 2 回、大きい学習室を利用して「サラウンド 5.1」の音響で上映しています。上映映画は会員の皆さまのリクエストにより選定しています。また保有する 150 本以上の DVD も無料で貸出しています。3 度のメシより映画の好きな方、また映画音楽に魅了された方、ぜひ一緒にたくさん名画を楽しみましょう。



ボランティア・グループ「こども文化」 「折り紙や工作をととして、若さのエネルギーを 享受しませんか！」

生環 28 期 柳 佐知子

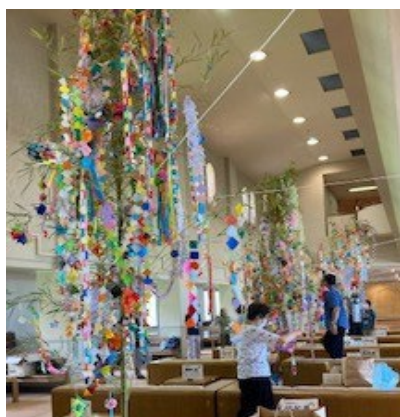
「こども文化」は、月 1 回の定例会を開催しています。身近な材料で伝統的な玩具を作って遊んだり、折り紙で行事ごとの飾り（お雛様・かぶと）や花・動物などを折ったりして会員相互の研修と親睦を深めています。

7 月 7 日までの 1 週間の七夕祭りには、しあわせの村内で竹笹を調達し、くす玉・くるくる貝・ハートの連などの折り紙を飾り、「ふれあいホール」に立ち上げ、皆さんには楽しいひと時を過ごしてもらいました。また、たくさんの方に、短冊に願いごとを書いて笹に結び付けていただきました。

また 12 月にはふれあいホールに、手製のツリーに色テープやリース・折り紙でサンタさんなどの飾りを、2 週間展示させていただきます。

七夕飾りやクリスマスツリー飾りは、会員や「むかしあそび研究会」の O B の方々の協力を得てできています。

ボランティア活動は、OB と共に組織する「むかしあそび研究会」の協力要請により、自主的に会員が参加して、幼稚園・児童館・小学校などに出向き、ブンブンごまや紙とんぼなどの“むかし遊び”を体験してもらい、子供たちと交流しています。



シルバーケーキの会 「ココアケーキでボランティア」

健康 28 期 小藪 孝明

私たちシルバーケーキの会は、うまいもん倶楽部と併設されたクラブです。うまいもん倶楽部に入会すると、自動的にシルバーケーキの会にも入会となります。うまいもん倶楽部が男性限定となっていますので、自動的にシルバーケーキの会も男性限定です。ケーキ作りのクラブなのに、「なんで男性限定やね」と女性からクレームが来そうですが、創立当初から、そうなっているみたいです。私個人としては、女性と一緒に楽しくケーキ作りをしたい、などと妄想していますが……。

それはさておき、私たちの活動ですが、作るケーキはココアケーキのみです。レシピも先輩方が作った伝統のレシピで頑固に同じものを作っています。他のものが作れないという見方もありますが。主な活動は、ボランティア活動報告会・学園祭でのココアケーキの製作と販売、そして 12 月にクリスマスプレゼントとしてしあわせの村内施設へのココアケーキのプレゼントを行っています。

活動としては年 3 回ということになりますが、今年度はよりおいしいココアケーキを作りたい、ということでボランティア活動報告会と学園祭の前に練習でココアケーキを焼きました。その中でつかんだ極意は「卵とトレハロースをしっかり泡立てる。その後小麦粉とココアパウダーを入れて混ぜるのですが、その時混ぜすぎない。ココアがまだらの線模様の状態で止める」です。

“そうか極意をつかんだ”と思ったら、先輩方のレシピにちゃんと書いてありました。ケーキ作りは何度も練習して自分でコツをつかむものなんですね～。

さて、12 月 23 日には今年度最後のクラブ活動として、ココアケーキを焼き施設へのプレゼントを行います。この号が発行される頃に、最後までうまくケーキが焼けていい 1 年だったね、と言えることを祈っています。



グループわ だより

ビバ！ハロウィン こうべっこひろば

10月30日、しあわせの村芝生広場にて、小学生までを対象として開催しました。感染対策で人数制限がありましたが、受付開始前から多く並ばれて、午前・午後あわせて子ども720人、保護者642人ご来場いただきました。グループわの各ボランティアグループ、スタッフ185人の協力によりステージ・各テントともに、工夫を凝らした出し物で、イベントは大盛況でした。昨年に続き、しあわせの村ユースボランティアの協力も得て、世代間交流もできました。



仮装した子どもたち



人形劇の様子

グループわ 会員親睦グラウンドゴルフ大会

11月16日、雲一つない絶好の天気にも恵まれ、しあわせの村多目的運動広場で開催しました。初めての人も数人いらっしゃいましたが14組41人の会員が、8ホール2ラウンドの個人戦で、熱戦を繰り広げ楽しい交流ができました。



参加者全員で記念撮影

本年度卒業生への入会案内

1月10日、3年生のホームルーム時間に「グループわ」の入会を案内させていただきました。3月24日までふれあいホールで入会ご相談・受付をしています。皆さま一人でも多くのご参加をお待ちしています。



小久江 次郎先生のジョイフルクッキング

レモンとハーブでマリネした若鶏のソテー



《材料》4人分

鶏モモ肉	1枚(450~500g)
ジャガイモ	4個(150g前後)
(メークイン)	
椎茸	8個(15~20g/個)
玉ねぎ	大さじ1(みじん切り)
にんにく	2片
レモン	1個
	(半分スライス/半分ジュース)

※フリーザーパック

アルミホイル

《調味料》

ハーブ	大さじ8(粗みじん切り)
	(バジル・パセリ・その他)
白ワイン	50cc(辛口)
チキンブイヨン	150cc
塩	少々
粗びき黒コショウ	少々
オリーブオイル	(①マリネ用 10g)
	(②付け合わせ用 10g)
	(③鶏肉焼き用 10g)
バター	(④付け合わせ用 15g)
	(⑤鶏肉焼き用 5g)
	(⑥ソース用 5g)

《作り方》

1. 鶏肉に粗びき黒コショウ、①オリーブオイル 10g をふりかけて、ハーブの枝の部分、レモンスライス・ジュースと共にフリーザーパックに詰める。最低1時間はマリネ(漬け込む)する。(塩は入れない)
2. 付け合わせのジャガイモは皮を水洗いし、そのまま塩ゆでする。
ジャガイモの皮をむき4等分して、④バター15g でゆっくり炒める。
3. 椎茸は石づきを取り、半分ぐらいに切る。②オリーブオイル 10g で炒め、玉ねぎみじん切りを入れ、塩・コショウする。
4. フライパンに③オリーブオイル 10g を入れて熱し、鶏肉に塩をふり皮面から焼く。にんにくと⑤バター 5g を加えきつね色になったら裏返し、数分焼き白ワイン 50cc をかける。鶏肉をアルミホイルに引き上げ保温しておく。
5. 鶏肉を焼いた後のフライパンにチキンブイヨン 150cc を入れ、1/5 まで煮詰める。小鍋に移し⑥バター5g とハーブ大さじ8を入れて味を調えソースにする。
6. 4の鶏肉をカットし、2・3のジャガイモ・椎茸の付け合わせと共にお皿に盛り付け、5のソースをかける。

《先生からのコメント》

- ・鶏肉は皮の水分をペーパータオルでしっかり拭き取り、こんがり狐色に焼くと香ばしく美味しいです。
- ・付け合わせのジャガイモ・椎茸は単品料理の一品でも楽しめますので、ぜひトライしてください。

(食文 28 期 西浦 哲雄)

《俳句クラブ》

四季の俳句

極月のゴリラが握る檻の柵	谷口 裕
にび色の空へ宝塔冬に入る	戸田 文章
亥の子餅濃茶を練りて談笑す	佐野 貴代美
魁夷の青静謐湛へ山眠る	山田 浩子
鴨の地鳴き飮す自然道	貞刈 茂
道行に紙降らせたり近松忌	千足 恵美子
冬晴れや槌音乾く石切場	村上 泰民
立ち話金木犀で中断す	寺尾 隆志
栗ご飯爪の痛みは湯気の中	中井 芳樹
新米を研ぐ指先の躍りけり	大高 松尾

《川柳くらぶ》

自由句

寒暖になれないままに冬がきて	吉田 謙
ビール無い国には行けん W杯 ワールドカップ	吉田 謙
青みどり孫に教える信号機	佐藤 眞巧
上手投げ伸びたまわしに寄り切られ	佐藤 眞巧
伸びる手は木綿豆腐を買っている	渡辺かおる
人生と絵画下書き足りてない	渡辺かおる
美しきウ国の童女 わらべ なお哀し	名定 博
ヒゲ伸びるマスクを取るとホーチミン	名定 博
青春の真っ只中にいる八十路	千足 千
伸び代が縮んだままの五十年	千足 千



《応募作品》

短歌

しあわせの村の芝生にテント張り
 子どもはしゃがんで親は寝ている
 自画像を描くがために写真撮り
 右向き左向き老けたな私
 ジョイラックデーへ向けての練習と

君口ずさむカーペンターズ
 寺尾 隆志（美工28期）

川柳

黄昏に齡（よわい）重ねる秋景色
 野田 悦治（生環26期）

初夢は卒業作品大賞と
 画数の多き篆刻肩のこる
 ステージは皆昭和の歌となり

寺尾 隆志（美工28期）

俳句・川柳募集中！

投稿はこちらから



事務局だより

◆学生募集へのご協力をお願い

1月16日(月)から令和5年度の入学者の願書の受付をスタートします。近年、入学者については、新型コロナウイルス感染症の影響が依然としてあり厳しい状況が予想されます。学びやクラブ、ボランティア活動などシルバーカレッジを活気のあるものにするため、たくさんの新入生をお迎えしたいと思います。

ついては、カレッジの在校生の皆さまには、友人・知人・ご家族の方などにお勧めいただきますよう、ご協力よろしくお願いいたします。

願書受付期間は、1月16日(月)～27日(金)の平日10時～16時です。持参、郵送、WEBで受け付けています。

また、1月16日(月)～20日(金)の毎日①10時～12時、②13時～15時の2回、学校説明会を開催します。事前予約制で先着20人となっています。

図書室だより

新しい年を迎え、KSCに集う皆さん一人ひとりが、今年も1年楽しく、充実した年になりますように願っております。

第3学年の方々は、グループ学習のまとめのため、過去の学習資料を閲覧される機会も増えていると思います。コピーが必要な資料で、「禁帯出」の資料については、貸出カウンターの「一時持ち出しファイル」に登録して、事務局でコピー可能ですので、お気軽に図書委員にお申し出ください。

図書室に入って右側(机の前)の、ゆったりと座れるソファに座って、のんびりと新聞各紙に目を通し、さあ、行動開始というのはいかがでしょうか？ 人生を豊かにしてくれる本や

編集後記

2022年も、相変わらずコロナ感染症に振りまわされた1年でした。

本号は、12月に行われた27期生のグループ学習発表会の様子を記事にいたしました。

まだまだ、コロナ感染症の影響が続くものと思われます。カレッジの徹底した予防対策と学生の適切な行動で、円滑なカレッジ活動が行えるよう、本年も引き続きカレッジ全体で取り組みましょう。

1月から編集の主体を徐々に29期生の編集委員へ移

◆暖房シーズンの節電について

シルバーカレッジの最大需要電力は、暖房によるものです。照明のLED化や機器の更新によって消費電力は少しは下がりましたが、一番電力を消費するのは暖房です。特に部屋の使用終了後はエアコン及び照明のスイッチを確実に切ってくださいますようお願いいたします。皆さまのご協力よろしくお願いいたします。

◆冬場の運転注意！！

しあわせの村内では、朝夕が気温0℃以下になることがあります。特に、車通学の方はスタッドレスタイヤを装着するなどの注意をお願いします。また、午前8時の時点で「神戸市」または「神戸市を含む地域」に、「大雪」などの警報または特別警報が発表された場合は、臨時休校になります。

◆駐車場定期券の取り忘れにご注意

多くの方に駐車場定期券をお使いいただいておりますが、料金所で定期券を機械に挿入したあと回収するのを忘れたまま通過してしまうケースがしばしばみられます。

ご利用に当たっては、定期券の取り忘れに十分ご注意ください。よろしくお願いいたします。

専門分野の知識を得られる本がいっぱいある図書室に来られることで、気分転換のきっかけとされてはいかがでしょうか。

2023年は、司馬遼太郎先生の生誕100周年記念でもあり、イベントの企画も検討しております。新しい出会いとなる本に向き合うのには、良い機会ではないでしょうか？

<新着図書>

「平尾誠二さんのこと」

著者 藪木 宏之 出版社 講談社
十進分類法による内容表記(783)・・・球技

「瓢箪から人生」

著者 夏井 いつき 出版社 小学館
十進分類法による内容表記(914)・・・評論 エッセイ
随筆

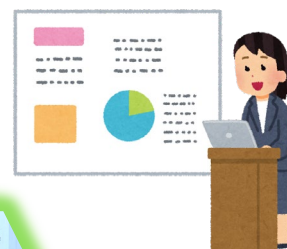
行し、4月特別号は29期生が中心になって作成します。皆さまのご協力をお願いいたします。

また学生募集が始まりますが、多くの新入生を期待しましょう。学生募集広報デザイン公募第1位に選ばれた美工28期和田早苗さんが、12月12日表彰されました。



表彰式にて学長と共に

グループ学習発表会と校外学習



健康

国際

食文

しあわせ家族 2031

がんばれ
ウクライナ

サン・
ファン・
パウティ
スタ号

ヒマジン

干し★干し★隊

Let's enjoy

歴史探検隊

ウクライナ5人組

料理を楽しむ会

HAPPY
END

富士山
Love 4

マネー
センス

台湾ナイン

リコピン
くらぶ

アクティブ
シニア・セブン

BE
KOBE

音文 G 学習発表に
向けての練習風景

国際 29 期 JICA 関西

生環 28 期 クリーンセンター

園芸 27 期 ハーブ園

美工 28 期小磯美術館

生環 29 期人と自然の博物館